

参考資料3 事業の試行実施結果

1 8月に試行実施した事業の募集結果など

(1) 応募件数 28件

(2) 応募者の概要

① 住所・所在地の内訳

広島市内24件、広島県内3件、広島県外1件

② 団体・個人の内訳

団体5件、個人23件

(3) 事業の選定条件

① 平成23年(2011年)6月30日(木)までに応募された企画であること

② 平成23年(2011年)8月末までに完了する単発的な事業であること

③ 企画内容及び実施・運営主体が明確であり、直ちに実現可能な事業であること

④ 実施・運営者が自己の責任において実行する事業であること

⑤ 参加者の意見などを検討委員会での議論に反映できる事業であること

2 8月に試行実施した事業

(1) とうろう流しの色紙(和紙)に再生・流灯

① 実施・運営者

広島市中央部商店街振興組合連合会(とうろう流し実行委員会)

特定非営利活動法人おりづる広島

② 事業内容

「ピースメッセージとうろう流し」において、8基のとうろうの色紙(和紙)に折り鶴再生紙を使用し、原爆死没者に対する慰霊や折り鶴に託された平和への祈りを込めて流灯する。

③ 実施時期・場所

平成23年(2011年)8月6日(土)・元安川親水護岸元安橋北側

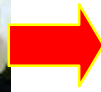
④ 折り鶴の使用量

約10kg(約1万羽)

【障害者就労支援施設での折り鶴再生紙づくり】



千羽鶴を解体し、色ごとに選別



折り鶴と牛乳パックを混合して攪拌(かくはん)



木枠で紙をすくって手漉き和紙づくり



和紙をまんべんなく、薄く広げます

しばらく乾燥させて



とうろくに使う和紙の完成

【8月6日、祈りを込めて流灯】



(2) ひろしま市民芸術祭 2011～折り鶴でつながろう！平和の心～

① 実施・運営者

社団法人広島青年会議所
特定非営利活動法人千羽鶴未来プロジェクト

② 事業内容

学生や市民が共同して折り鶴のモザイクアートを制作し、平和記念公園に展示するセレモニーなどを通して折り鶴に託された平和への思いを広く発信する。

【第1部】つながりのパート

- ・ 折り鶴が寄贈されるようになった背景や歴史などについての学習
- ・ 千羽鶴を一羽ずつに解体する作業、折り鶴モザイクアート（ピース）の制作

【第2部】感謝のパート

- ・ 平和記念公園を訪れる多くの方々の参加を得て折り鶴モザイクアートを完成させ、芝生広場に展示
- ・ 折り鶴再生品の展示と紹介
- ・ 折り鶴寄贈者への感謝の気持ちを表現するなどのセレモニーを実施し、折り鶴に込められた思いを受け止め、多くの人々に平和へのメッセージや思いを広く発信する。

③ 実施時期・場所

【第1部】平成23年(2011年)8月7日(日)・広島なぎさ中学校・高等学校

【第2部】平成23年(2011年)8月27日(土)・平和記念公園

④ 折り鶴の使用量

約550kg(約65万羽)

【8月7日 制作の様子】



千羽鶴を一羽ずつ解体する作業



折り鶴モザイクアート(ピース)の制作

【8月27日 モザイクアートの完成・展示】



最後のピースをはめ込み完成(原爆の子の像)



平和記念公園芝生広場にアートを展示(原爆ドーム)

3 8月に試行実施した事業に関するアンケートの実施結果など

(1) とうろう流しの色紙（和紙）に再生・流灯

① アンケートの実施方法

ア 実施日

平成23年(2011年)8月6日(土)

イ 実施場所

元安橋北側

ウ 実施方法

とうろう流しへの参加者を対象に事業概要とアンケート用紙を配付・回収

② 有効回答数 143人

③ アンケート結果

ア 回答者の属性

区分		小学生	中学生	高校生	大学生	一般	合計
男性	人数	1	13	0	4	28	46
	構成比	0.7%	9.1%	0.0%	2.8%	19.6%	32.2%
女性	人数	3	15	4	12	63	97
	構成比	2.1%	10.5%	2.8%	8.4%	44.0%	67.8%
合計	人数	4	28	4	16	91	143
	構成比	2.8%	19.6%	2.8%	11.2%	63.6%	100.0%

イ 回答者の住所

区分	広島市内	広島県内	広島県外	合計
人数	53	14	76	143
構成比	37.1%	9.8%	53.1%	100.0%

ウ 取組への評価

「昇華させる取組としてふさわしい」と答えた人の割合が95%を超え、非常に高い評価が得られた。

ふさわしいと思う理由としては、「平和への思いを多くの人々と共有することで、たくさんの祈りが受け継がれていく」「思いを大切にし、生かしていると感じられる」「ゴミとして処理したり燃やしたりするより良い」などの意見が多数あり、参加者の多くが折り鶴に託された思いを共有し、平和の大切さを再認識する機会となったことが窺われる。

一方、ふさわしくない理由には、「折り鶴を捧げた人の中には再生紙にすることを望んでいない人もいる」「勝手にとうろうに変えるのは折った人に失礼」などがあり、折り鶴を捧げた人の心情への配慮が今後の検討課題として考えられる。

区分	ふさわしい	ふさわしくない	無回答	合計
人数	136	5	2	143
構成比	95.1%	3.5%	1.4%	100.0%

【ふさわしいと思う理由】

- ・折り鶴を捧げた人の平和への思いを多くの人々と共有することで、たくさん人の祈りが一つになり、受け継がれていく。(19)
- ・思いが込められた折り鶴なので、ゴミとして処理したり燃やしたりするよりふさわしい。(15)
- ・紙を有効活用しており、エコにもつながる。(14)
- ・折り鶴に込められた思いを大切にし、生かしていると感じられる。(9)
- ・平和への思いや祈りが亡くなった方々の許へ届くように感じる。(6)
- ・形を変えても折り鶴に託された思いが変わらず残っていく。(5)
- ・平和への祈りという、折り鶴ととうろうの共通点が活かされている。(5)
- ・平和を再認識することにつながる。(5)
- ・折り鶴を折った一人一人もとうろう流しに“参加”することができる。(5)
- ・多くの人々の平和への思いが形となったイベントに参加できることは有意義。
- ・折り鶴は折って捧げられたことでその役目は既に達成されており、その鶴を利用することは気持ちを無にすることにはならない。折り鶴は形であり、気持ちが伴う取組であればどんなものでも相応しい。
- ・障害者の社会参加にもつながる。

【ふさわしくないと思う理由】

- ・せっかく折ってくれた気持ちを無にしている。
- ・折り鶴を捧げた人の中には再生紙にすることを望んでいない人もいる。
- ・禎子さんのために折った鶴を勝手にとうろうに変えるのは禎子さんにも折った人にも失礼である。
- ・子どもたちが一生懸命折った折り鶴を結局ごみにしてしまう取組には反対である。
- ・子どもたちに伝えたい平和への思いと折り鶴を溶かす行為は矛盾している。

エ 抵抗感の有無

「特に抵抗感はない」と答えた人が9割を上回り、とうろう流しの紙に折り鶴再生紙を使用することへの抵抗感は少ないという結果が得られた。

一方、「抵抗感がある」と答えた人の理由としては、「鶴を折った方々の知らないうちに処分することに申し訳なさを感じる」「捧げた人が寂しく思うことが心配」など、折り鶴を捧げた人の心情へ懸念を示すものが見受けられた。

区分	抵抗感なし	抵抗感あり	無回答	合計
人数	133	9	1	143
構成比	93.0%	6.3%	0.7%	100.0%

【抵抗感がある理由】

- ・鶴を折った人の知らないうちに処分することに申し訳なさを感じる。
- ・捧げた人は寂しく思うかもしれないと心配である。
- ・思いを込めて一羽一羽折った鶴の形がなくなってしまうのは寂しいと感じる。
- ・千羽鶴をばらばらにすることに抵抗感がある。
- ・折り鶴が平和のシンボルである意味がなくなる。
- ・紙をわざわざまた紙に加工することの意味が分からない。

オ 折り鶴に託された思いの受け止め方

- ・折り鶴に込められた思いに自分の思いを重ね合わせ、平和の尊さを一層感じることができた。(7)
- ・平和への思いは永遠に変わらない、続いていると思った。(4)
- ・平和を守るためにできることから取り組みたいと思った。(3)
- ・折り鶴の多さやとうろう流しに参加する人々の数から、平和を望む人がこれほど多いことを知った。(3)
- ・折り鶴を折った人と一緒にとうろうを流している気持ちになった。(2)
- ・皆の思いが一つになったような気がした。
- ・一人一人の平和への思いがとても重く心に残った。
- ・世界中の人々にも折り鶴に託された平和の思いを感じてほしいと思った。
- ・平和を願う気持ちを共有することが平和への小さい一歩になると感じた。
- ・個人個人がもう一度平和について考える機会を与えてもらった。
- ・平和のメッセージを考える機会となり有意義であると感じた。
- ・思いがこもった折り鶴が昇華され天国に届くような気がした。
- ・佐々木禎子さんの思いが伝わった。
- ・平和への思いが自分に託された気がした。
- ・折り鶴を折った人々の思いをつなげていく取組に感動した。

カ その他の意見

- ・是非続けてほしい。(2)
- ・この取組は、折り鶴の対応に関して一つの前進である。
- ・折り鶴をビジネスにせず、地域貢献につながる利用をしてほしい。
- ・はがきや封筒など広島（平和記念公園）にしかないものをつくってほしい。
- ・終了後に市の清掃工場へ持っていくということには違和感を覚える。
- ・このような取組は原爆の恐ろしさや被害を忘れないためにも必要である。
- ・水の汚染につながらないような素材のとうろうを考えてほしい。

(2) ひろしま市民芸術祭 2011～折り鶴でつながろう！平和の心～

① アンケートの実施方法

ア 実施日

平成23年(2011年)8月27日(土)

イ 実施場所

平和記念公園

ウ 実施方法

「ひろしま市民芸術祭 2011～折り鶴でつながろう！平和の心～」への参加者・来場者を対象に事業概要とアンケート用紙を配付・回収

② 有効回答数 90人

③ アンケート結果

ア 回答者の属性

区分		小学生	中学生	高校生	大学生	一般	合計
男性	人数	2	1	0	1	15	19
	構成比	2.2%	1.1%	0.0%	1.1%	16.7%	21.1%
女性	人数	5	0	31	0	35	71
	構成比	5.6%	0.0%	34.4%	0.0%	38.9%	78.9%
合計	人数	7	1	31	1	50	90
	構成比	7.8%	1.1%	34.4%	1.1%	55.6%	100.0%

イ 回答者の住所

区分	広島市内	広島県内	広島県外	合計
人数	38	23	29	90
構成比	42.2%	25.6%	32.2%	100.0%

ウ 取組への評価

「昇華させる取組としてふさわしい」と答えた人の割合が95%を超えるとともにふさわしくないと答えた人はなく、非常に高い評価が得られた。

ふさわしいと思う理由としては、「平和の思いを世界へ発信し、広げていくことができる」「一人一人の平和を大切にする気持ちや平和へ意識が深まる」などの意見が多数あり、参加者の多くが折り鶴に託された思いを共有し、平和の大切さを再認識する機会となったことが窺われる。

区分	ふさわしい	ふさわしくない	無回答	合計
人数	86	0	4	90
構成比	95.6%	0.0%	4.4%	100.0%

【ふさわしいと思う理由】

- ・平和の思いを世界へ発信し、広げていくことができる。(8)
- ・一人一人の平和を大切にす気持ちや平和へ意識が深まる。(7)
- ・たくさんの人々の平和への思いやメッセージが伝わった。(8)
- ・平和を願う思いが繋がり、一つになれたような気がした。(4)
- ・多くの人に関わって何かを作り上げることに意味があると思う。(3)
- ・子どもからお年寄りまで誰でも参加することができる。(3)
- ・平和の尊さをいつまでも忘れないために、見える形で表すことは大切である。(3)
- ・平和の象徴である「折り鶴」が有効に使われていた。(3)
- ・これほど多くの人々が心を込めて折り鶴を折ってくれたこと、その重みを実感できた。(2)
- ・新しい形になって活かされている。(2)
- ・折り鶴に託された思いが亡くなられた方の許に届けられるように感じる。(2)
- ・折り鶴を折った人とモザイクアートを制作した人の両方の思いがこもっていて、より深く伝わった。(2)
- ・新しい利用の仕方を提案することで折り鶴や平和についての新しい見方が生まれる。
- ・作業する人も、見る人も両方が楽しみ、感動することができる。
- ・保存や飾っておくだけよりは良い。(4)
- ・ただ捨てられたり燃やしたりするよりは良い。(3)

エ 抵抗感の有無

「抵抗感がある」と答えた人は2%であり、このイベントに対する抵抗感
は少ないという結果が得られた。

区分	抵抗感なし	抵抗感あり	無回答	合計
人数	80	2	8	90
構成比	88.9%	2.2%	8.9%	100.0%

【抵抗感がある理由】

- ・分からない。

オ 折り鶴に託された思いの受け止め方

- ・改めて平和の尊さと、戦争のない平和な世界になることを願う。(8)
- ・平和について考える良い機会になった。
- ・平和への思いを世界中の人々に知ってもらいたい。
- ・どこでもだれでも平和に暮らしたいと願う思いは同じ。
- ・この折り鶴に込められた思いがたくさんの人々に届けば良いと思った。
- ・世界平和に努力していきたい。
- ・世界中の人々の平和の思いが広島に集まっているのだと感じた。
- ・鶴を折ることで平和への思いをつなげていけることを改めて感じた。
- ・世界の人々が折った鶴をアートとして作り上げられたものを見て感動した。
- ・平和を願う人々の思いが折り鶴という形になって全世界の人の心に届くのだと思った。

カ その他の意見

- ・思いが込められた折り鶴をもっといろいろな取組に活用すればよい。(7)
- ・今後もこのような取組を続けてほしい。(5)
- ・たくさんの人に参加してもらえるようもっとPRしてほしい。(2)
- ・原爆の子の像に捧げられる折り鶴の行方を知らなかったのもっと知りたい。
- ・アートを各地に配って語り継ぐ方法もある。
- ・再生ノートなどを販売して再び平和のために使うと良い。
- ・再生したノートやボールペンを世界の貧しい子どもたちに送り、日本から平和のメッセージを届ければ良い。
- ・もっと規模が大きければ良かった。
- ・折り鶴に込められた思いが世界に通じるかは疑問がある。
- ・膨大な量の折り鶴を限られた人と時間、場所でモザイクアートをつくるのは、大変な労力が必要であり、定期的の実施する必要はない。

4 9月以降に試行実施した事業の実施結果など

(1) 広島テレビ開局 50 年事業「平和へのひと筆 Piece for Peace HIROSHIMA」

① 実施・運営者

広島テレビ放送㈱

② 事業内容

平和への願いや大切な人への思いのこもった一文字を募集し、集めた文字をフォント（書体）化して人々の思いを広く発信することとし、この事業に使用する用紙（半紙、制作する絵本など）に折り鶴再生紙を使用する。

平和の原点は人を思いやる気持ちであり、思いのこもった文字を集めることで、温もりのある平和な世界を実現したいという願いを込めた事業であり、世界中の人々が平和を願って折った折り鶴から再生した半紙に平和への願いを揮毫（きごう）することにより、平和を願う思いがさらに大きな思いとして広がり、より意義深い事業となることを目指す。

【集めた文字の活用方法】

- ・テレビ番組で文字・メッセージを紹介
- ・ホールなどで展示
- ・被爆体験を伝える絵本の制作 など

③ 実施時期

平成 24 年(2012 年)1 月～平成 25 年(2013 年)3 月

④ 折り鶴の使用予定数量

折り鶴の配合率が未定のため、現時点では使用量は確定していないが、少なくとも約 2～3 t の折り鶴を使用し、半紙・チラシ 7 万部程度を作成する予定である。

現在、愛媛県の製紙業者に試作品の作成を依頼しており、数種類のサンプルをもとに配合率などを決定し、2 月中に発注、4 月頃から再生紙の半紙などを使用する予定である。

⑤ 実施上の課題

再生紙は、「墨で書いてもにじまない」「スキャナーを通しても破れない」などの要件を満たす必要があるが、再生紙の素材として未知数である折り鶴を使用するため、試作から配合率の決定、製作などの作業工程に長期間を要する。

(2) 平和・環境ワークノートの提供

① 実施・運営者

中国地区製紙原料直納商工組合

② 事業内容

【ノートの提供】

折り鶴再生紙で平和と環境について学べるワークノートを作成し、県内の小学生に提供する。（公益財団法人古紙再生促進センターの平成23年度古紙回収推進事業）

ア 折り鶴の使用量

約1.6t（約182万羽）

※ノート100g×約80,000冊＝約8t

（折り鶴配合率10%以上、牛乳パック5%以上）

イ 再生経費

特注品のため、通常のノート原紙に比べ、2.5倍の費用がかかっている。

（※販売目的での制作ではないが、仮に販売するとしたら小売価格は250円程度）

【折り鶴の解体・分別作業及び紙すき体験イベント】

ア リサイクル勉強会

（子どもたちにも理解し易いようクイズ形式で実施）

講師：王子製紙株式会社呉工場 原 功人氏

イ 折り鶴分別作業

ウ 紙すき体験

（折り鶴と牛乳パックによるハガキ作り）



リサイクル勉強会で分別の必要性を説明

③ 実施時期・場所

【ノートの提供】

平成24年(2012年)3月頃・県内小学校約550校の
高学年児童を対象に約8万冊を配付

【折り鶴の解体・分別作業及び紙すき体験イベント】

平成23年(2011年)12月4日(日)・楠那小学校



折り鶴解体・分別作業

④ 取組の成果と課題

ア 成果

- ・ 折り鶴分別イベントでは、折り鶴をリサイクルする事の意義と古紙分別の重要性を伝えることができ、リサイクルと平和を学ぶきっかけを子供たちに提供するという目的は達成できた。

イ 課題

- ・ 折り鶴の分別に時間と手間がかかりすぎる。（イベント当日は半分も分別できなかった。）
- ・ ハサミなどで怪我をする子どもがおり、対策を講じる必要がある。
- ・ ノートを各小学校へ配付する方法を検討する必要がある。
- ・ 単発的なイベントでは恒常的な昇華の効果は望めないことから、年間10tの折り鶴の一部を継続してリサイクルするための仕組み作りが必要である。



紙すきによるハガキ作り

(3) ANAボーイング787ドリームライナー広島～羽田就航記念セレモニー

① 実施・運営者

全日本空輸(株)

② 事業内容

新型旅客機「ボーイング787」の初就航を出迎えるセレモニーの一環として、折り鶴ウェルカムボードを広島空港内に設置するとともに、1か月間（平成23年(2011年)11月1日～30日）継続して展示した。

なお、展示終了後は、古紙関係事業所に搬入し、リサイクル古紙としての処理を依頼した。

【折り鶴ウェルカムボード制作イベント】

ア 実施時期・場所

平成23年(2011年)10月16日（日）・
広島空港「ひろしま空の日2011ふれあい秋まつり」

イ 折り鶴の使用量

約10kg（約1万羽）

ウ 参加者数

約300人

エ 参加者の評価

- ・広島らしい平和のPRを全国的・世界的なニュースとして発信できる取組である。
- ・子どもたちも楽しく折り鶴やボーイング787に興味を持つことができた。

【就航記念セレモニーなど】

ア 実施時期・場所

平成23年(2011年)11月1日（火）・
広島空港2階 国内線搭乗待合室周辺

イ 参加者数

334人（搭乗者264人、来賓など53人、報道関係者8社・17人）

ウ 折り鶴使用の周知

事業のコンセプトと制作過程を記載した説明パネルを折り鶴ウェルカムボードの横に並べて展示するとともに、報道機関に情報提供

エ 折り鶴ウェルカムボードに関する評価

（乗客）

- ・よく見ると折り鶴で作られていて驚いたが、説明パネルを見て納得した。
- ・色がとてもきれいで鮮やか。

（乗務員・空港関係者）

- ・広島らしさがよく出ていた。
- ・華やかで式典にふさわしい。
- ・搭乗待合室が華やかで明るくなった。
- ・搭乗者の目を引いている様子であり、説明パネルも熱心に読んでいる光景がよく見受けられた。
- ・ウェルカムボードの空きスペースに一般の方々の思いを綴ってもらえるような企画があっても面白かったかもしれない。

③ 取組の成果と課題

ア 成果

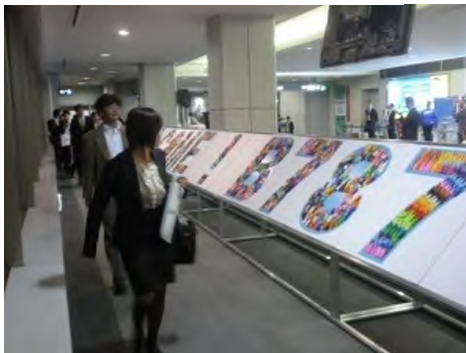
計画当初は、折り鶴とボーイング787の世界初就航というイメージが合致するののかとの議論もあったが、結果として、就航当日のみならず、制作イベントにもマスコミによる取材・報道が数多く行われ、全世界的なニュースに合わせて、広島らしい平和への願いと県民の手作りによる温かいお出迎えをコンセプトとしたPRに話題と華を添えることができた。

イ 課題

空港以外の掲出場所や保管場所を確保できれば、ウェルカムボードをより長く多くの人々に見てもらい、さらなる効果が得られたものと考えられる。



折り鶴ウェルカムボード制作イベント



初就航の乗客をお出迎え



折り鶴ウェルカムボードの横に展示した説明パネル



683便広島行き。羽田発の初便就航式典は朝の岡山行きで行なわれたため、テープカットなど式典の設定はなかったが、広島県アピールのためレモンが配布されていた。



出張サラリーマンも最新鋭機の就航と知って携帯電話のカメラでパチリ。

ドアの長方形の窓から見えたとしなやかな翼。グリーンライトはドアロックの確認用。



RWY34Lに着陸した。到着スポットは中央の64番。屋上のデッキにはたくさんのファンが詰め掛けているはずだ。目立つ場所に置く、そんなスポットアサインだろう。

広島に着いた683便を迎えた折鶴の787文字

その4時間後、同じ64番ゲートでは787の広島行き初便683便のボーディングが始まった。ゲートではANAスタッフと広島県東京事務所職員らの手によって乗客にレモンが配布された。広島県はレモン生産日本一なのだという。

配布された搭乗記念証



夕刻の便。傾く太陽を追って西に向かう。バーカウンターでは「ANAカーボン・オフセットプログラム」の受付が行なわれていたが、間伐材でつくった「ミニ787グッズ」は早くも売り切れていた。

広島空港到着。ターミナルでは「RIDE ON TIME」の生演奏で683便の乗客を迎えた。また折鶴を集めて作られた787のウェルカムボードもお迎え。広島市の平和記念公園に寄せられる折鶴で作られたものだという。

夜の帳が降りた5番スポットでは787は折り返しの686便として出発準備中。広島発の初便にしてデビュー初日最後のフライト。満席の乗客を乗せて羽田への帰路についたのだった。



折鶴で作成された787のウェルカムボード。

ターミナルの照明に浮かび上がる出発準備中のJA801A。このあと羽田行き686便として飛び、長かった就航初日を終える。

